5

TOTSUKA てとつ

No.334

舞岡町と吉田町にまたがる標高55~60メートルの舞岡熊之堂の丘陵で、2017(平成29)年~

2020 (令和2)年の発掘調査により、太平洋戦争末期の「照空隊陣地」という戦争遺跡が見つか りました。照空隊は、夜間に飛来した敵機を「照空灯」と呼ばれる大きなサーチライトで照らし、

敵機の

位置を 確かめ ます

こころ豊かに つながる笑顔 元気なとつか

戸塚に残る戦争の記憶

戦後80年。戸塚も空襲の被害を受けたという記録があります。

横浜市は延べ25回の空襲を受けており、そのうち戸塚は7回空襲を受けました。(戸塚区史より)

区内で戦争の歴史を振り返ることができるいくつかのお話をご紹介します。

戦争や平和について改めて考えるきっかけにしましょう。

舞岡熊之堂の 照空隊陣地





高射砲射撃を援助しました。



資料提供:公益財団法人 横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター

戸塚にあった 海軍病院



写真提供:独立行政法人 国立病院機構横浜医療センタ

戸塚競馬場での 軍馬の訓練

昭和初期、吉田町にあった「戸塚 競馬場」。子どもの頃遊びに行く と、そこにいる馬は全部軍馬で、 馬場にある1本の松の木を敵に見 立てて訓練していたことを覚え ています。▶(区制80周年記念誌 戸塚 の老舗紹介ページより)



▲吉田町にあった戸塚競馬場(1933(昭和8)年) 写真提供:坂本写真



わたしの 戦争の記憶

当時の様子を知る 地域の皆さんの声 子どものころ、横浜駅方面 の空が真っ赤で、線路の上 を人がぞろぞろ歩いてい るのを見たけど、それが横 浜大空襲だったんだ。

戸塚には工場があったからか、 戦闘機による攻撃がありました。 子どもたちは、泉区方面の親せき 宅やお寺に疎開していました。

聴音機 照空灯 原宿にある横浜医療センターは、「戸塚海軍病院」として設 立された病院で、衛生兵や看護担当兵を養成する衛生学校 もありました。

照らす位置

を決めます

当時看護師として勤めていた横田晴江さんの体験記

「空襲警報が鳴ると、動けない患者は担架に乗せてベッド の下に押し込み、動ける患者だけが防空壕に入っていた。 患者を送り出し、ベッドの下の患者を見回る頃には艦載 機がやってくる」- 中略 - 「空を見上げると、小さい機影 が急降下の体制に入ろうとしている。]-中略-

「松林に入るが早いか機銃の掃射、パッパッと土煙が上 がる。] - 中略 - 「ここは病院なのだ。大きな赤十字の マークも屋根に書いてある。それなのに草取りをする私 たちめがけて2機が襲ってきて…」

(横浜市史資料室 市史通信第23号 羽田博昭 記 より)

戦争で使われた 柏尾川の桜

江戸時代の1856 (安政3)年の植樹が始まりの柏尾川の桜 並木。戦時中は燃料として伐採されて全滅してしまいま した。終戦後、有志が中心となって資金を出し合い、2.000 本を植樹。その後も伐採と植樹を繰り返して現在に引き

継がれて います。



▲昭和初期の柏尾川

問区役所広報相談係(№866-8321 №862-3054)

● 戸塚区のいま ● 人□:281,918人 世帯数:127,084世帯 (令和7年7月1日現在) ● 紙面中の電話番号、ファクス番号の市外局番は「045」です。

戸塚区役所

〒244-0003 戸塚町16-17 8月の区役所土曜開庁日:**9日・23日**(毎月第2・4土曜) **国**9時~12時

最新の戸塚区の



■866-8484 ■862-3054 戸籍課、保険年金課、こども家庭支援課(児童手当の申請・受付、母子健康手帳の交付)の業務のみ取扱います。 情報はこちら ※土曜開庁日は、窓口が大変混み合います。時間に余裕を持ってお越しください。